

肝胆膵領域手術の短期・長期予後調査

1991年1月から2019年5月までに肝胆膵領域手術を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「肝胆膵領域手術の短期・長期予後調査」という研究を行います。この研究は、1991年1月1日より2019年5月10日までに日本医科大学付属病院消化器外科にて、肝胆膵領域疾患のために手術を受けられた患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：肝胆膵領域手術の短期・長期予後調査

研究期間：研究実施許可日～2034年3月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 消化器外科 大学院教授 吉田 寛

(2) 研究の意義、目的について

この研究の目的は、当院で肝臓・胆管/胆嚢・膵臓・脾臓（以降、肝胆膵領域）疾患の治療を受けた全ての患者さんの治療成績を集積し、今後の治療成績を改善させ、より安全な治療を目指していくものです。肝胆膵領域手術は肝臓や胆管/胆嚢、膵臓、脾臓にできた腫瘍や胆管/胆嚢にできた結石、脾機能亢進に伴う血球減少に対する治療などのために行われます。医療の進歩・データの蓄積により手術を含めました治療法の安全性は高まりましたが、手術のタイミング（緊急や予定）やアプローチ法（開腹や腹腔鏡）、術式や術前・術後化学療法など様々な治療法のなかで、より安全に、より効果的な治療を行なっていくために、現状の治療成績を把握し、検討することで今後の治療方法の改善を図れます。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

1991年1月1日より2019年5月10日までに日本医科大学付属病院消化器外科にて、肝胆膵領域手術を受けられた患者さんの手術前後の臨床経過や検査結果、病理所見、術中所見などのデータ集積・解析し、予後因子について検証します。この研究のために検査や来院の追加をいただく必要はございませんが、長期間来院がなく現在の状況がわからない場合にお電話やお手紙にて状況を確認させて頂く場合があります。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 消化器外科 助教 青木 悠人

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24645

メールアドレス：yutoaoki@nms.ac.jp